



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月5日

上場会社名 帝国通信工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6763 URL <https://www.noble-j.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽生 満寿夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 丸山 睦雄 (TEL) 044-422-3831  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	3,528	50.2	501	—	537	—	422	—
2021年3月期第1四半期	2,349	△24.4	△101	—	△47	—	△51	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 735百万円( —%) 2021年3月期第1四半期 △186百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	42.94	42.88
2021年3月期第1四半期	△5.23	—

(注) 2021年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	27,987	23,529	82.5
2021年3月期	27,270	23,063	82.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 23,089百万円 2021年3月期 22,620百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,500	46.4	900	—	950	—	800	—	81.23
通期	14,000	16.5	1,300	72.1	1,400	58.5	1,150	52.2	116.77

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 2022年3月期第2四半期(累計)の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の対前年四半期増減率は、1,000%を超えるため「—」と記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	10,141,833株	2021年3月期	10,141,833株
2022年3月期1Q	293,579株	2021年3月期	293,378株
2022年3月期1Q	9,848,343株	2021年3月期1Q	9,836,386株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
3. 補足情報 .....	11
製品別販売実績 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大はワクチン接種が各国で開始され抑制されてきておりますが、ワクチンの普及は国により格差がある状況であり、アジアの一部の国ではロックダウンなどの措置がとられており、また、変異種による再拡大が懸念されていることから、依然として不透明な状況が継続しております。

当社グループの属するエレクトロニクス業界では、産業機器、ゲーム機関連、自動車関連など各市場において新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着きを取り戻しつつあり、総じて好調に推移しております。一方、半導体や一部の材料が調達難になっており、また材料価格や輸送費の高騰など先行きの状況は不透明感が増しております。

このような状況の中で当社グループは、未来のNOBLEを見据えて、「抵抗器のNOBLEから新生NOBLEへの深化と進化」を長期ビジョンとして、中期5ヵ年計画を策定し、その初年度である今期は取組施策の実行計画を立案、目標達成に向けて取組を推し進めております。新型コロナウイルスの感染防止に取り組みながら、既存領域の拡大、顧客ニーズを捉えた新製品展開と省人化、無人化など生産性向上とコストダウンを引き続き推し進め、競争力強化をしてまいりました。さらに自動車電装向けや生活家電向け等の受注が引き続き好調を維持しており、ゲーム機関連も堅調であった結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は35億28百万円（前年同期比50.2%増）となりました。営業利益は5億1百万円（前年同期は営業損失1億1百万円）、経常利益は5億37百万円（前年同期は経常損失47百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億22百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失51百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①電子部品

前下期より回復した受注は順調に推移しており、特にゲーム機市場向けは堅調で、自動車電装向けや生活家電向けも好調を維持しております。一方、半導体や一部の原材料で調達難や材料費値上がり等の不安材料もでています。

この結果、電子部品の売上高は34億14百万円（前年同期比51.7%増）となり、営業利益は5億6百万円（前年同期は1億12百万円の営業損失）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

#### a. 日本

ゲーム機市場向けや自動車電装向けが好調に推移しましたが、半導体不足による客先の生産調整も出始めております。

この結果、売上高は17億99百万円（前年同期比51.6%増）、営業利益は3億72百万円（前年同期は1億5百万円の営業損失）となりました。

#### b. アジア

中国市場向けを中心に、可変抵抗器やエアコン向け固定抵抗器の受注が好調でした。しかし東南アジアの各国で新型コロナウイルスが感染拡大し、一部ではロックダウンの地域もあり、サプライヤーから供給される部品が十分に確保できないものがでてきました。

この結果、売上高は15億34百万円（前年同期比49.7%増）、営業利益は1億50百万円（前年同期比4,761.1%増）となりました。

#### c. 北米

自動車電装向けも回復してきましたが、アジアから北米への物流が滞り、伸び悩みました。

この結果、売上高は80百万円（前年同期比106.5%増）、営業利益は8百万円（前年同期は4百万円の営業損失）となりました。

②その他

環境対応緩衝材は、半導体関連市場向けや医療機向けに順調に推移しましたが、機械設備の製造販売は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、低調でした。

この結果、その他事業の売上高は1億14百万円（前年同期比15.7%増）、営業損失は9百万円（前年同期は4百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ7億16百万円増加し279億87百万円となりました。その内訳は、流動資産が5億96百万円増加し164億43百万円、固定資産が1億20百万円増加し115億43百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ2億50百万円増加し44億57百万円となりました。その内訳は、流動負債が1億99百万円増加し25億60百万円、固定負債が51百万円増加し18億97百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ4億66百万円増加し235億29百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の82.9%から82.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきまして、2021年5月11日に公表いたしました業績予想値を修正いたします。詳細につきましては、本日公表しております「2022年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,063,565	9,723,246
受取手形及び売掛金	3,264,049	3,202,937
電子記録債権	620,094	632,774
商品及び製品	1,112,041	1,189,601
仕掛品	566,837	585,383
原材料及び貯蔵品	682,997	732,100
その他	541,546	381,129
貸倒引当金	△4,369	△3,837
流動資産合計	15,846,761	16,443,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,942,398	1,926,439
機械装置及び運搬具（純額）	1,343,287	1,343,940
その他（純額）	904,788	908,552
有形固定資産合計	4,190,474	4,178,932
無形固定資産	60,147	58,420
投資その他の資産		
投資有価証券	2,735,032	2,854,462
退職給付に係る資産	3,932,810	3,945,763
その他	509,929	511,154
貸倒引当金	△4,848	△4,848
投資その他の資産合計	7,172,923	7,306,532
固定資産合計	11,423,544	11,543,885
資産合計	27,270,306	27,987,221
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	754,379	745,543
電子記録債務	503,172	563,436
短期借入金	47,263	45,839
未払法人税等	115,427	98,657
賞与引当金	334,798	188,273
役員賞与引当金	8,000	—
その他	597,478	918,251
流動負債合計	2,360,518	2,560,001
固定負債		
退職給付に係る負債	118,916	139,232
その他	1,727,435	1,758,318
固定負債合計	1,846,351	1,897,550
負債合計	4,206,870	4,457,552

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	12,363,761	12,540,402
自己株式	△715,192	△715,414
株主資本合計	20,557,960	20,734,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,029,576	1,104,985
為替換算調整勘定	△201,542	60,381
退職給付に係る調整累計額	1,234,614	1,190,073
その他の包括利益累計額合計	2,062,649	2,355,440
新株予約権	10,169	13,114
非支配株主持分	432,657	426,733
純資産合計	23,063,436	23,529,669
負債純資産合計	27,270,306	27,987,221

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	2,349,170	3,528,455
売上原価	1,661,056	2,243,923
売上総利益	688,114	1,284,532
販売費及び一般管理費	789,946	782,967
営業利益又は営業損失(△)	△101,831	501,564
営業外収益		
受取利息	14,087	9,442
受取配当金	25,571	38,881
受取賃貸料	12,520	15,326
その他	21,033	12,480
営業外収益合計	73,213	76,130
営業外費用		
支払利息	582	585
固定資産賃貸費用	7,228	6,635
外国源泉税	—	24,829
為替差損	10,452	6,478
その他	1,032	1,542
営業外費用合計	19,296	40,071
経常利益又は経常損失(△)	△47,914	537,623
特別損失		
減損損失	—	4,680
固定資産売却損	—	11,400
特別損失合計	—	16,080
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△47,914	521,542
法人税等	4,011	91,521
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△51,926	430,020
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△491	7,168
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△51,434	422,852

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△51,926	430,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	154,909	79,403
為替換算調整勘定	△270,718	270,490
退職給付に係る調整額	△19,132	△44,674
その他の包括利益合計	△134,941	305,219
四半期包括利益	△186,868	735,240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△191,061	715,643
非支配株主に係る四半期包括利益	4,193	19,596

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、顧客との約束が財又はサービスを他の当事者によって提供されるように手配する履行義務である場合には、代理人として純額で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	2,250,465	98,704	2,349,170	—	2,349,170
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,332	123,699	125,032	△125,032	—
計	2,251,798	222,404	2,474,202	△125,032	2,349,170
セグメント利益又は損失(△)	△112,955	4,759	△108,196	6,364	△101,831

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	1,186,487	1,024,955	39,022	2,250,465	—	2,250,465
地域間の内部売上高 又は振替高	766,869	710,065	—	1,476,935	△1,475,602	1,332
計	1,953,356	1,735,021	39,022	3,727,400	△1,475,602	2,251,798
地域別利益又は損失(△)	△105,754	3,098	△4,519	△107,176	△5,779	△112,955

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 3
	電子部品 (千円) (注) 1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	3,414,220	114,234	3,528,455	—	3,528,455
セグメント間の内部売上高 又は振替高	921	73,789	74,710	△74,710	—
計	3,415,141	188,023	3,603,165	△74,710	3,528,455
セグメント利益又は損失(△)	506,232	△9,164	497,068	4,496	501,564

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	1,799,101	1,534,543	80,575	3,414,220	—	3,414,220
地域間の内部売上高 又は振替高	1,435,665	919,421	—	2,355,086	△2,354,165	921
計	3,234,767	2,453,964	80,575	5,769,307	△2,354,165	3,415,141
地域別利益	372,078	150,620	8,754	531,453	△25,221	506,232

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては4,680千円であります。

3. 補足情報  
製品別販売実績

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%		%	
前面操作ブロック (千円)	644,961	27.5	873,328	24.8	135.4
可変抵抗器 (千円)	420,965	17.9	607,435	17.2	144.3
固定抵抗器 (千円)	383,776	16.3	513,247	14.6	133.7
その他 (千円)	800,761	34.1	1,420,209	40.2	177.4
小計 (千円)	2,250,465	95.8	3,414,220	96.8	151.7
その他					
その他 (千円)	98,704	4.2	114,234	3.2	115.7
小計 (千円)	98,704	4.2	114,234	3.2	115.7
合計 (千円)	2,349,170	100.0	3,528,455	100.0	150.2